

令和5年度 王司山田園事業報告

1. はじめに

令和5年度は、令和4年度と同様に新たに特例加算があり令和6年2月より始まった処遇改善特例加算と今年度6月より一つに統合されること以外制度改正もなく推移した。職員配置は、引き続き1.7:1での支援を継続し、平均利用者数は、生活介護32.0名、施設入所支援32.0名、平均障害支援区分5.8となっている。欠員は女性2名・男性1名（待機登録者：男性21名・女性2名、緊急登録者：男性0名・女性0名・令和6年3月31日現在）である。

施設入所支援・生活介護・短期入所の更新申請を行い承認され期間は、令和5年9月1日から令和11年8月31日となっている。

2. 施設運営

(1) 利用者支援

令和5年度も、支援員配置は夜勤者2名、宿直者1名、早出・遅出各2名、及び日勤者数名で支援した。リハビリを継続し、意志決定支援に配慮した視覚的支援は、外出等を自粛しているため、日常生活に限られてではあるが、ある程度効果がでている。

(2) 施設及び設備整備について

開園後22年が経過、備品や設備の老朽化が目立つようになってきて、以下の修理・取り替えを行った。

- ・ウオシュレット交換
- ・居室ガラス交換
- ・雨漏り修繕工事
- ・食器洗浄機修理
- ・手摺取付工事
- ・厨房LED交換
- ・ナースコール修理
- ・衣類乾燥機修理
- ・エアコン修理
- ・混合水栓修理
- ・洗面台水栓修理
- ・軟水器カートリッジ交換

(3) 職員について

支援員1名が定年退職、調理員については、4月に1名を採用したが8月に退職したため、12月に1名を採用した。

3. 状況報告

(1) 利用者・職員状況

①利用状況

夜間支援である施設入所支援は、利用者定数35名に対し、男性20名・女性12名の計32名でスタートし、現在に至っている。

日中支援である生活介護事業の通所部門並びに短期入所事業については、再

開している。

②職員研修

職員の資質向上を図るための各種研修会・セミナー等は、新型コロナウイルス感染防止のため県外研修はオンデマンドにて参加している。

[職員研修実績表]

| 月日 | 研 修 名 | 主 催 | 場 所 | 人数 |
|---------|------------------|----------|-----|----|
| 5/17 | 新任職員研修 | 県研修所 | 山口市 | 2 |
| 6/15 | 医療保健部会 | 県福祉協会 | 〃 | 1 |
| 6/16 | 給食担当職員研修 | 県研修所 | 〃 | 1 |
| 7/13・14 | 防火管理講習 | 下関市 | 下関市 | 1 |
| 9/6 | サービス管理者研修 | YIC スタジオ | 山口市 | 1 |
| 11/10 | 経理事務研究会・運営委員会 | 県研修所 | 〃 | 1 |
| 11/17 | 医療保健部会研究会 | 県福祉協会 | 美祢市 | 1 |
| 11/20 | 新任職員フォローアップ研修 | 県研修所 | 山口市 | 2 |
| 11/21 | 経理事務研究会 | 県福祉協会 | 〃 | 2 |
| 12/8 | 意思決定支援研修会 | 県社協 | 〃 | 1 |
| 1/25 | 虐待防止徹底研修会 | 県福祉協会 | 〃 | 1 |
| 2/28 | 給食部会研究会 | 県福祉協会 | 〃 | 1 |
| 3/5 | 事故防止活動の管理者マネジメント | 県社協 | 〃 | 1 |

※なお、オンデマンドで全国知的障害関係施設長会議（日本知的障害者福祉協会主催）相談支援従事者研修（YIC）虐待防止・権利擁護研修（県障害者支援課）特定給食施設研修（県健康づくりセンター）

下関市自立支援協議会「くらしの部会」へ月2回程度参加・研修

園内研修（職員の自主研修）として、アンガーマネジメントについて・ダウン症の特徴と支援時の合理的配慮・リフレーミングについて・入浴について・虐待防止研修・身体拘束適正化についての研修・ビジネスマナー研修・改めて考える。「障がい」とは・住環境に関して（衣・食・住）・おむつを外し失禁を改善する。

令和5年度は、1名が社会福祉士に合格した。現在の資格保有者数は、社会福祉士5名、精神保健福祉士2名、介護福祉士10名となっている。

③支援活動

(イ) 健康管理

感染症予防対策として、1日3回の手洗い・うがい・消毒の徹底、換気、外出時マスク着用等を行い、令和5年度は新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス・感染性胃腸炎等の感染症は発生しなかった。帰省・買い物・外出等も含め外部との交流を見合わせ、職員は勤務中や外出時のマスクの着用と不要不急の外出は避け、出勤前の検温等の健康管理で感染予防に努めている。

令和5年度健康診断の実施状況

嘱託医浜田医師による年2回の健康診断(8月・3月)、福田歯科医師による歯科検診(2月)を実施。また、看護師が適宜耳垢除去を行っている。新型コロナウイルスワクチン接種は、6月に6回目、11月に7回目を希望する利用者さんに実施。

令和5年度 入院状況

入院利用者はなかった。

令和5年度 通院状況

| 医療機関名 | 診療科目 | 延人員 | 備考 |
|-----------|-------|-----|----------------|
| 下関病院 | 精神科 | 24 | てんかん・精神遅滞・適応障害 |
| 浜田内科クリニック | 内科 | 9 | 肝機能障害・糖尿病・高血圧等 |
| 河崎皮膚科 | 皮膚科 | 9 | アトピー性皮膚炎等 |
| 京野眼科 | 眼科 | 4 | 白内障等 |
| 岡病院 | 内科・外科 | 1 | 打撲等 |
| かげやま耳鼻科 | 耳鼻科 | 1 | 耳漏 |
| 福田歯科 | 歯科 | 52 | 齲蝕・歯周病・義歯調整 |
| おづきクリニック | 整形外科 | 2 | 関節痛・骨粗鬆症等 |
| 長府泌尿器科 | 泌尿器科 | 3 | 尿細菌検査・前立腺肥大等 |
| 長岡内科 | 内科 | 3 | 大腸検査 |
| 関門医療センター | 総合病院 | 3 | 発熱等 |

| | | | |
|----------|------|---|-----------|
| 下関医療センター | 総合病院 | 1 | 発熱等 |
| 下関市民病院 | 総合病院 | 3 | 耳下腺腫瘍・検査等 |

(ロ) 活動状況

- ・令和4年度に引き続き、利用者さんの身体機能、特性別の5グループ編成での支援を行い、支援員も昨年度同様に固定せず流動的な配置を行った。
- ・活動内容については、朝ワーク、カレンダー作りなどの個別担当支援、リハビリ・リラクゼーションなどの健康維持、壁面制作・書道・陶芸等創作活動、理美容・レクリエーションを含む生活支援、館内外清掃や草取りなどの環境整備の5つのカテゴリーに分類してバランス良く各班の特性に合わせて配置し行った。
- ・障害特性上、活動参加が難しい利用者さんで編成した班には視覚支援の個別ワークを行いある程度効果がでて、落ち着いて活動できるようになった。
- ・外出は買い物・日帰り旅行・ドライブを実施した。車内で過ごすだけでなく、他の利用客の状況により現地で少し休憩や散策し気分転換を図った。
- ・入浴は、ゆっくり・少人数で入浴することで、利用者さんはリフレッシュできており、洗体も不完全ではあるが自分で洗える利用者さんが多くなり、意欲もわいてきている。

(ハ) 生活支援状況

担当別行事

- ・担当別給食・・・支援員と担当利用者さんが、交流センター和室および第2多目的室で給食を食べ、家庭的な雰囲気味わう為企画していたが新型コロナウイルス感染防止のため中止した。
- ・担当別調理実習・・・支援員と担当利用者さんが手作りの物を家庭的な雰囲気で飲食できるよう企画していたが新型コロナ感染防止のため中止した。
- ・担当別外出・王司婦人会との調理実習・・・令和4年度同様令和5年度も新型コロナウイルス感染防止のため中止した。
- ・理美容
園内にて業者による理美容は、感染予防に努めながら毎月実施した。

(二) 地域交流・地域貢献

山田地区自治会主催の5月の溝掃除6月の草刈りは参加し、清末地区文化祭にも参加した。また、高齢者買い物支援は6月から毎月1回、健康体操教室は5月から隔月で実施。清末小学校との交流会については、コロナ感染症の拡がりが見えなかったため、令和4年度に引き続き中止とした。小原地区・山田地区の廃品回収は、感染予防のため利用者は参加せず、職員のみで行った。

(ホ) 広報

王司山田園の広報誌「かざぐるま」第39号を1月に発行し、王司・清末地区近隣11自治会に回覧をお願いし、関係機関及び地域役員、保護者に350部配布、王司山田園を育む会へ約200部提供した。

家族会及び帰省は年度を通して4回(4月、6月、8月、12月)の実施。保護者に対して近況報告として、園活動状況や予定と利用者の近況等について連絡事項をまとめた「王司山田園だより」を帰省月の前月に送付した。

(ヘ) 社会支援及び諸行事

令和5年度 行事实施状況

| 実施月日 | 行事名 | 実施内容 | 場所 | |
|------|-----|-------------|--------------|-------|
| 4月 | 3日 | 開園記念日 | 行事弁当 | 王司山田園 |
| | 6日 | 春を楽しむ会 | 室内レク・行事弁当 | 〃 |
| 5月 | 19日 | スポーツデー | ボッチャ | 〃 |
| 6月 | 3日 | 王司山田園ふれあい祭り | ミニバザー・模擬店・喫茶 | 〃 |
| 7月 | 13日 | 映画の日 | 短冊・飾り付け | 〃 |
| 8月 | 5日 | 神田川まつり | 花火見学 | 〃 |
| 9月 | 14日 | ドライブの日 | 豊田蛍ミュージアム | 同左 |
| 10月 | 12日 | 日帰り旅行 | ココランド・常盤公園 | 同左 |
| 11月 | 3日 | 清末地区文化祭 | 展示物観覧 | 清末公民館 |

| | | | | |
|-----|-----|------------|---------------|----------------|
| 12月 | 22日 | クリスマス会・忘年会 | 宴会・ティータイム | 王司山田園 |
| 1月 | 12日 | 新年会 | 初詣・外食 | 忌宮神社・ 宮ノ内茶寮 |
| 2月 | 16日 | 温泉の日・バイキング | 入浴（入浴剤）・バイキング | 王司山田園 |
| 3月 | 12日 | 自治会レク | カラオケ大会・マクドナルド | 〃 |

- ・月2回の割合で利用者さんの嗜好品（おやつ等）・日用品を職員が代行して買い物に行き、月1回利用者さん担当職員が衣類・雑誌や必需品等を代行して購入している。そのうち1回は利用者さんを引率し、意思決定支援に繋がるよう自己選択の場を提供している。
- ・王司山田園ふれあい祭りは、利用者さん・ご家族・職員だけの開催となり、開会宣言からフィナーレまで規模は縮小したが模擬店バザー・喫茶コーナー・催し物等あり利用者の皆様は満足されていました。
- ・日帰り旅行はココランドの宴会場を借り切りにし食事を摂った後、常盤公園に移動し、動物園観覧、遊園地では観覧車など乗り物や散策をして利用者の皆様大満足でした。
- ・クリスマス会・忘年会は、施設内で実施し、サンタさんからのクリスマスプレゼントを受け取り、食事は豪華行事食弁当で、ティータイムはクリスマスケーキを食べ笑顔一杯でした。
- ・新年会は初詣を忌宮神社で行い、その後併設している宮ノ内茶寮にて昼食を摂りました。茶寮では瓦にのった瓦そば、お刺身など普段あまり食べる事の出来ない料理を楽しまれていました。

(ト) 防火・防災対策

- ・年2回総合訓練（避難・通報・消火訓練等）を東消防署に届け出て、実施している。その際、消防署員より利用者さんへ災害・火災に関する講義を行っている。3か月に1回の割合で避難訓練も実施し、その中には夜間想定訓練や風水害に対する避難訓練も取り入れ、利用者さんに防火・災害に対する意識の向上を行っている。また、消防設備に関しては、年2回、点検を実施した。

(チ) 給食

・昨年度に引き続き、利用者さん全員を対象として栄養ケアマネジメントを実施した。日本人の食事摂取基準2020年版に基づいて、質・量ともに個人にあったものを提供し、嗜好も把握している。家庭的な雰囲気を出すために利用者さんの誕生日ごとに希望を受け、一人一人の誕生日メニューを提供し、毎月1～2回は選択メニューを実施した。日帰り旅行、新年会では貸し切り会場での外食をする事ができたが、施設内でのバイキングの実施、ファーストフードの購入、豪華な弁当の提供等利用者さんの満足感を高める食事提供を行うよう努めた。利用者さんが落ち着いて食事が出る事と感染症対策を兼ね、男性利用者は食堂、女性利用者は居室で食事を摂るように継続している。

(リ) 短期入所利用状況

・短期入所受入実績 延べ7件

(ヌ) 権利擁護・虐待防止

・虐待防止委員会を定期的開催し、虐待防止に努めた。支援員には、虐待防止研修を受講させ、職員会議においても日々変化する内容の周知を行った。職員セルフチェックや労働安全衛生法に定められているストレスチェックを年1回実施し、結果を集計して提示している。

令和5年度 ヒヤリハットシート提出件数 27件

4. その他

・令和5年5月新型コロナウイルスも2類から5類に移行したため、買い物など外出や外泊を緩和し、1日3回の検温等バイタルチェックは2回に変更したが、来訪者・業者等の館内立入前検温と職員の出勤前の検温・手洗い・消毒の徹底と園内でのマスクの着用は継続している。短期入所・日帰り生活介護利用も徐々に緩和し、令和5年度は短期入所利用もあった。

下関長府ライオンズクラブ様より6月と12月花苗を寄贈して頂き、利用者さんと職員で花壇とプランターに植え替え園内の環境美化に努めている。

